

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	おはなのいえ木場えこる		
○保護者評価実施期間	令和8年 4月 1日 ～ 令和8年 4月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23 (回答者数)	22
○従業者評価実施期間	令和8年 4月 1日 ～ 令和8年 4月 10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 5月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家事スキルの向上	おはなのいえのコンセプトでもある「家事スキル」は、保護者の方にもご理解いただきおはなのいえ独自の目標として、個別支援計画書にも取り入れさせていただいています。工程を個々に合わせステップにし、個別にお伝えしています。	家事スキル【掃除・洗濯・調理】・将来「1人暮らしをしたい。」「グループホームでの生活を考えている」等、どの選択をしても不可欠になるスキルを個々に合わせてお伝えしています。認知力向上のためのトレーニング【コグトレ】社会的スキルの向上【SST（ソーシャルスキルトレーニング）】この3本柱をおはなのいえの支援としています。
2	般化がしやすい環境	一軒家をコンセプトにより家庭に近い環境の中で支援を行います。いつでも帰って来られる場所、抛り所を目指し施設感のない雰囲気を作っています。また、軽度のお子様には彼らのプライドや思いを守る意味でも社用車は、世間の車と同じもの。職員の服装はお母さんやお父さんがしている格好で、いち人的環境としても寄り添っています。	構造化を常に考え、必要に応じた環境設定を心がけています。しよっちゅう模様替えが行われるのでお部屋もきれいです。
3	遊び × 身体づくり × 学校生活に必要な力	外遊びを多く取り入れ、楽しみながら体の使い方や体幹が育つ活動を行っています。自然の中での感覚遊びを通して、五感をたっぷり使いながら体験することで、身体だけでなく心の成長にもつながる時間を大切にしています。ルールのある遊びでは、順番を待つ・気持ちを切り替えるなど、集団で過ごすために大切な力が自然と身につくよう支援しています。年齢の違う子どもたちが関わり合い、学校生活で困らない力を育てることを大切にしています。	お子さま一人ひとりの成長の様子を、よりわかりやすくお伝えできるように記録やフィードバックの方法を工夫していきます。また、学校での様子や困りごとをこれまで以上に共有し合い、事業所での支援につなげていきます。遊びや外活動のバリエーションも増やし、学校生活で必要な力がさらに身につくよう、環境づくりを進めていきます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他事業所との交流や地域交流	おはなのいえに通うお子さまのプライドや学童期、青年期の心の葛藤に向き合うための配慮だと感じています。	ゼロの状況はありませんが、控えたい時期には控えます。積極的な活動が子どもたちにとってメリットになる時期には、様々な活動参加を行います。
2	安全計画、避難訓練、事業所内の様子の周知	マニュアルについては、虐待、身体拘束適正化、防犯、感染症、事故防止（ヒヤリハット含む）においてすべて策定しておりその項目においての事業所内研修及びBCPの外部研修などを経て改善、工夫をしております。また、SNSについての周知を主にさせていただいております。	SNSの閲覧呼びかけや、送迎時に実施報告をさせていただくことが今の段階の最善の方法です。マニュアルについての説明は契約時や面談時に行っていますが、詳細説明についてご希望があればお時間をとって頂き来所いただいたときに文章読み上げで丁寧にご説明をさせていただきます。
3	保護者会の開催	昼夜の部で検討、改善を重ねたが保護者の集まりが少ない。	本部木場にて隔月の開催をします。SNSでの呼びかけも行ってあります。